

NEWS INDEX



日 刊 (但土曜 日曜 祝日休刊)

発 行 所

保険毎日新聞社

東京都台東区台東4丁目14番8号 シモジパークビル2F

〒110-0016

電 話 03(5816)2861(代表)

振 替 00140-6-70860

© 保険毎日新聞社

justInCase

アドバイザーボードに3氏迎える

遠藤俊英元金融庁長官らが参画

justInCase(以下、JIC)とjustInCase Technologies(以下、JICT)は10月21日、元金融庁長官の遠藤俊英氏、弁護士増島雅和氏(森・濱田松本法律事務所パートナー)、マネーフォワードCO-PAの瀧俊雄氏の3氏をアドバイザーボードとして迎えたことを発表した。同社は、保険業界の革新

をより強固な体制で進め、「助けられ、助ける喜びを、すべての人へ。」というビジョンの達成に向けてさらに取り組みを加速する考えだ。今回参画した遠藤氏は、東京大学法学部卒業後、大蔵省に入省。国際通貨基金アジア太平洋局審議役を務め、金融庁監督局審議官としてパーゼル基準等に携わった後、金融庁検査局長、監督局

長を歴任。2018年に金融庁長官に着任、20年には顧問となり、退任。現在も金融行政の第一線で活躍している。増島氏は東京大学法学部卒業後、コロンビア大学ロースクール修了。金融庁監督局保険課及び同局銀行第一課に課長補佐として出向するなど、金融分野における豊富な知識を持つ。瀧氏は慶應義塾大学経



革命の時。

左から瀧氏、畑氏、遠藤氏、増島氏

済学部卒業後、野村證券入社。家計行動、年金制度、金融機関ビジネスモデル等の研究業務に従事後、スタンフォード大学MBA、野村ホールディ

の畑加寿也氏は「今回、当社のアドバイザーボードに3人の有識者の方々をお迎えすることができ、大変心強く感じています。多くの業界と同様

ングスの企画部門を経て、12年よりマネーフォワードの設立に参画。同社のFinTech研究所長も務めている。JICとJICTの代表取締役の畑加寿也氏は「今回、当社のアドバイザーボードに3人の有識者の方々をお迎えすることができ、大変心強く感じています。多くの業界と同様に、保険業界もITにより大きく変容を遂げようとしている。当社だけでは成し遂げられないような大きな変革をアドバイザーボードの皆さまや当社を取り巻く全ての方々と一緒に進めていきたい」と語る。

同社では9月にインシユアテックホワイトペーパー「ITを中心とした保険の方向性を指し示すロードマップ」を公表しており、その中では、保険を取り巻く次の10年の環境変化や、現在の保険会社におけるITを取り巻く体制、今後の規制の変化などについて畑氏が

考察している。アドバイザーボード就任に当たり、3氏から同ホワイトペーパーに寄せられたコメントの一部を抜粋して紹介する。遠藤氏コメント…「このホワイトペーパーは、そつしたわが国保険業界に対する、きわめて有益かつ刺激的な内容のガイドダンスだと思います。アドバイザーボードの議論に参加し、ホワイトペーパーを踏まえたjustInCaseのチャレンジを応援していくことが、わが国保険業の発展に資するものと感じています」

増島氏コメント…「日本では、保険は基礎書類レベルではモジュール構成されているものの、ITシステムのレベルでは販売される商品単位で構築されているため、柔軟な組み換えや顧客ドリフの個別設計の要求に対応しにくい面があるように思います。『保険商品』という保険会社の売り物を、基礎書類という契約システムとITシステムを組み合わせた複合システムと捉え、これをさまざまなニーズに柔軟に対応するためのアーキテクチャを設計するという発

想でリデザインすることができれば、大きな競争優位性を獲得することは間違いなだろうと思います」 瀧氏コメント…「本ホワイトペーパーから示唆される、イノベーションの在り方やインフラの再構築の考え方は、保険業が自ら身軽な変容を遂げていくためにも重要なものです。Z世代をはじめとする未来の顧客基盤が必要とする商品が、遅すぎない近未来に生まれたいくためにも、アドバイザーとして、その動きを促進していければと考えています」